

キリンググループ 2015年度第2四半期決算説明会

2015年8月7日
キリンホールディングス株式会社

(1) 第2四半期決算概要

(2) 振り返りと今後の方針

(1) 第2四半期決算概要

(2) 振り返りと今後の方針

2 Q連結業績

KIRIN

対前年では、日本総合飲料の販売数量増等により増収、海外総合飲料ののれん償却額減少及び医薬・バイオケミカルの増益等により増益。対計画では、営業利益が見通しを上回った

億円	2015年	2014年	対前年増減 (%)		1 Q見通し (差)	
売上高	10,702	10,562	139	1.3	10,900	△197
日本総合飲料	5,476	5,305	170	3.2		
海外総合飲料	3,359	3,566	△206	△5.8		
医薬・バイオケミカル	1,743	1,575	168	10.7		
営業利益	579	502	77	15.3	540	39
日本総合飲料	95	139	△43	△31.1		
海外総合飲料	258	185	73	39.4		
医薬・バイオケミカル	239	196	43	21.9		
経常利益	572	451	121	27.0		
四半期純利益	331	140	190	135.9		

※ 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額111億円が減少

平準化 E B I T D A	1,248	1,265	△16	△1.3		
平準化 E P S (円)	57	54	3	5.6		

※ 明細はP 2 7を参照

億円	2015年	2014年	対前年増減	
売上高	5,476	5,305	170	3.2%
麒麟ビール	3,250	3,177	72	2.3%
麒麟ビバレッジ	1,699	1,614	84	5.2%
メルシャン	325	324	0	0.1%
その他・内部取引消去	201	188	12	6.8%
営業利益	95	139	△43	△31.1%
麒麟ビール ※1	231	258	△27	△10.6%
麒麟ビバレッジ ※1	△34	△3	△30	—
メルシャン ※1	2	3	△0	△26.8%
その他 ※2	△103	△109	5	—
計		149		
のれん償却額 ※3	—	△9	9	—

■ 営業利益 対前年増減

麒麟ビール	億円
酒類限界利益	23
原材料コスト	△11
販売費	△67
その他費用	28
計	△27

麒麟ビバレッジ	億円
数量差異	68
原材料等コスト	6
容器構成差異等	△19
販売費	△87
その他費用	0
計	△30

※1 2015年度より持株会社へのマネジメントフィ控除前にて表示（2014年度実績も組み替えて表示）

※2 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含む

※3 2015年度から、企業結合会計適用により のれん償却額が減少

	ビール類	RTD	ワイン	清涼飲料
2015年2Q 販売数量 対前年増減	+1%	+12%	△2%	+7%

ブランド投資の強化等により減益となったものの、計画どおりに活動を展開し、ビール類、RTD、清涼飲料の販売数量が増加

キリンビール

- 「一番搾り」強化に集中、ビールカテゴリーで前年プラス
 - ・ 9工場地域限定醸造「一番搾り」が計画の3倍を出荷
 - ・ 飲食店への提案強化、「一番搾りプレミアム大樽」を発売
- 機能性商品で強みを発揮、発泡酒・新ジャンル計で前年プラス
 - ・ 「淡麗プラチナダブル」「のどごしオールライト」販売好調により機能性カテゴリーで確固たる地位確立
- RTDが市場成長を上回るプラス
 - ・ 「本搾り」好調などにより、販売数量が大幅増



キリンビバレッジ

- 市場を大きく上回る販売数量+7%を達成
 - ・ 戦略カテゴリーである炭酸市場において「メッツ」ブランドが好調
 - ・ 缶が計画を下回り、ミックス改善は引き続き課題



ライオン 2Q業績明細



	2015年		2014年		対前年増減		対前年増減 (%)	
	億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円ベース	AUDベース
売上高	2,399	2,514	2,483	2,674	△84	△159	△3.4	△6.0
酒類	1,380	1,446	1,378	1,484	1	△37	0.1	△2.5
飲料	1,018	1,067	1,105	1,189	△86	△122	△7.8	△10.3
のれん等償却前営業利益 ※1	368	385	390	420	△22	△34	△5.7	△8.2
酒類 ※1	372	389	382	412	△10	△22	△2.8	△5.4
飲料 ※1	14	15	21	23	△7	△8	△33.4	△35.2
本社 ※1	△18	△19	△14	△15	△4	△3		
のれん償却額 ※2	△62	△65	△153	△165	91	100		
ブランド償却額	△19	△20	△20	△21	1	1		
営業利益 ※2	286	300	216	233	70	67	32.3	28.8

連結期間：2014年10月～2015年3月 為替レート：95.42円（前年同期：92.88円）

※1 2014年度実績の事業別内訳は、2015年度本社費用賦課ルールの変更を反映

※2 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額が減少

■ 販売数量増減

	対前年 (%)
酒類	△2.2
飲料	△19.4

■ のれん等償却前営業利益増減明細

百万AUD	酒類	飲料
2014年実績	412	23
販売数量増減	△22	△16
その他	0	8
2015年実績	389	15

ブラジルキリン 2Q業績明細

KIRIN

	2015年		2014年		対前年増減		対前年増減 (%)	
	億円	百万リアル	億円	百万リアル	億円	百万リアル	円ベース	リアルベース
売上高	718	1,784	883	1,970	△164	△185	△18.7	△9.4
のれん等償却前営業利益	△6	△16	2	6	△9	△23	△330.1	△356.3
のれん償却額	△23	△58	△26	△59	2	0		
ブランド償却額	△14	△34	△15	△34	1	－		
営業利益	△44	△110	△39	△87	△5	△22	－	－
E B I T D A	54	135	65	146	△11	△11	△17.0	△7.5

連結期間：2015年1月～6月 為替レート：40.25円（前年同期：44.82円）

■販売数量増減

	対前年 (%)
ビール	△22.7
清涼飲料	△23.1
合計	△22.8

<参考> 市場動向（S I C O B E）

- ・ビール : 対前年 △6.8%
- ・飲料 : 対前年 △5.7%

- 粗利の減少（△\$R28MM）：
 - ・販売数量減少
 - ・リアル安による原材料コスト増
- 販売費及び一般管理費の減少（+\$R5MM）：
 - ・効率的使用による販売費・広告費の減少



ライオン

<酒類>

- ・ 縮小が続く豪州ビール市場と低調な豪州経済を背景に、販売数量が減少
- ・ 「ジェームス・スクワイア」「リトル・クリーチャーズ」等、クラフトビールの販売数量は引き続き大幅に増加

<飲料>

- ・ ミルクビバレッジ等の注力カテゴリーが引き続き好調
- ・ 対前年では減益となったものの、再生計画「Turnaround Plan」が着実に成果を上げ、計画を上回る営業利益



ブラジルキリン

- ・ 収益性の高いチャネル・商品の販売に注力
- ・ 取引条件の適正化に加え、厳しい競争環境が継続したことにより、販売数量が減少
- ・ コスト効率化を進めたものの、レアル安により原材料費が増加

億円	2015年	2014年	対前年増減	
売上高	1,743	1,575	168	10.7%
協和発酵キリン	1,788	1,618	169	10.5%
医薬	1,349	1,189	159	13.4%
バイオケミカル	439	429	9	2.3%
その他・内部取引消去	△44	△43	△0	—
営業利益	239	196	43	21.9%
協和発酵キリン	239	196	43	21.9%
医薬	185	141	43	30.9%
バイオケミカル	39	42	△2	△5.3%
その他・のれん償却額消去	45	43	1	2.7%
のれん償却額	△30	△31	0	—

- 前年4月の薬価基準引下げの影響を受けたものの、「ジーラスタ®」等の新薬好調により、国内医薬の売上高が増加
- 前年8月に買収したアルキメデス社の連結等により、海外売上高も増加し、医薬事業全体で増収増益
- 医薬・バイオケミカル全体の営業利益は計画を大幅に上回った



- 各セグメントの上半期進捗を勘案するとともに為替レートを見直し、売上高を下方修正するも、営業利益計画は堅持
- 営業外損益・特別損益の見直しにより経常利益・当期純利益を上方修正

億円	通期業績予想		差異	主な修正要因
	2 Q修正	1 Q予想		
売上高	22,200	22,700	△500	日本総合飲料：±0 海外総合飲料：△560（販売状況、為替レート見直し） 医薬・バイオケミカル：+50（国内医薬品の伸長） その他：+10
営業利益	1,390	1,390	—	
経常利益	1,280	1,220	+60	持分法投資利益の増加等
当期純利益	670	620	+50	固定資産売却益の増加等

（定量目標）

	2 Q修正	1 Q	差異	対前年増減	
平準化 E B I T D A	2,730億円	2,760億円	△30億円	△1億円	△0.1%
平準化 E P S	120円	121円	△1円	+2円	1.7%

セグメントごとの通期営業利益計画修正と計画達成に向けた取り組み

KIRIN

億円	2Q修正	1Q予想	差異	修正理由	下半期の取組み
日本総合飲料	420	400	+20	※日本総合飲料全体についてはP29を参照	
麒麟ビール	589	571	+18	コスト削減を含む「その他費用」の見直し	通期販売数量目標達成に向けた活動を継続
麒麟ビバレッジ	69	69	—	修正なし	主力ブランド、自販機チャネルの販売強化によるミックス改善
海外総合飲料	510	580	△70	※下記のほか、その他海外総合飲料で+7	
ライオン	479	500	△20	為替レートの見直し（97円→93円）	計画どおりの活動を継続
ブラジル麒麟	0	57	△57	- 販売数量の減少、原材料費の増加 - 為替レートの見直し（46円→39円）	注力エリアにおける競争力強化施策の実行スピードアップ
医薬・バイオケミカル	500	450	+50	国内医薬品の伸長	計画どおりの活動を継続
合計	1,390	1,390	—		

(1) 第2四半期決算概要

(2) 振り返りと今後の方針

「麒麟の復活」に向けて、 次期中期経営計画での成長につなげる1年

麒麟・グループ・ビジョン2021（KV2021）



2016年-2018年中期経営計画

2013年-2015年中期経営計画

2013

2014

2015

2016

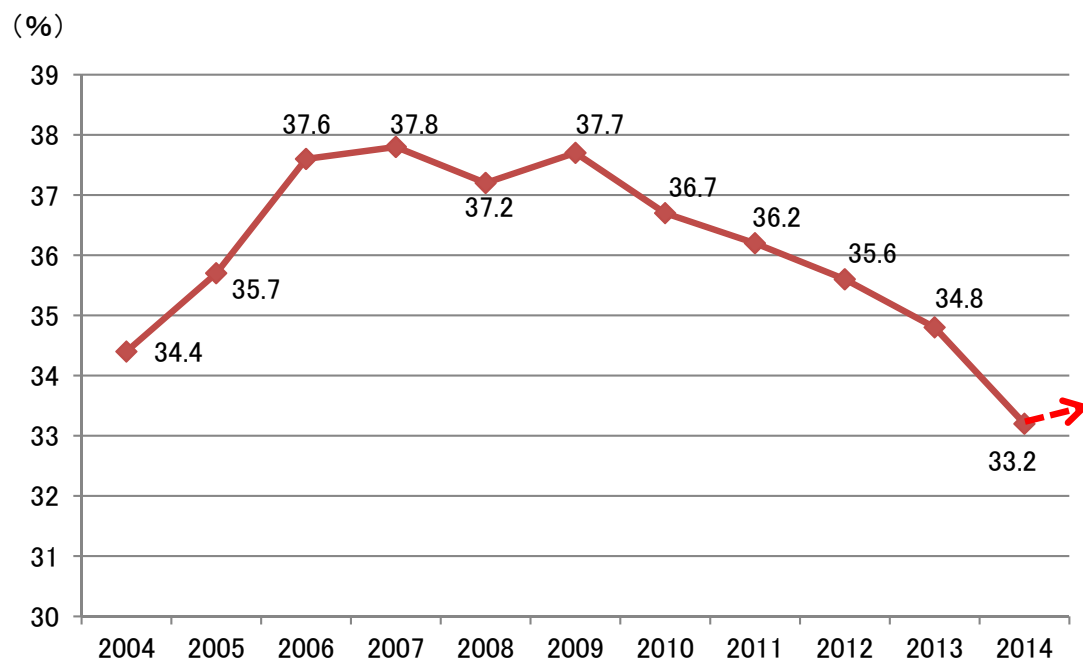
2017

2018

...

2021

国内ビール類の シェア下げ止め

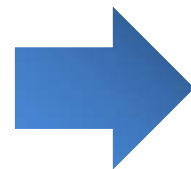


(注) 課税移出数量に基づく

ブラジルキリンの 利益回復と収益基盤づくり



執行役員制を導入
麒麟ホールディングス執行役員と
日本統括会社執行役員が兼務

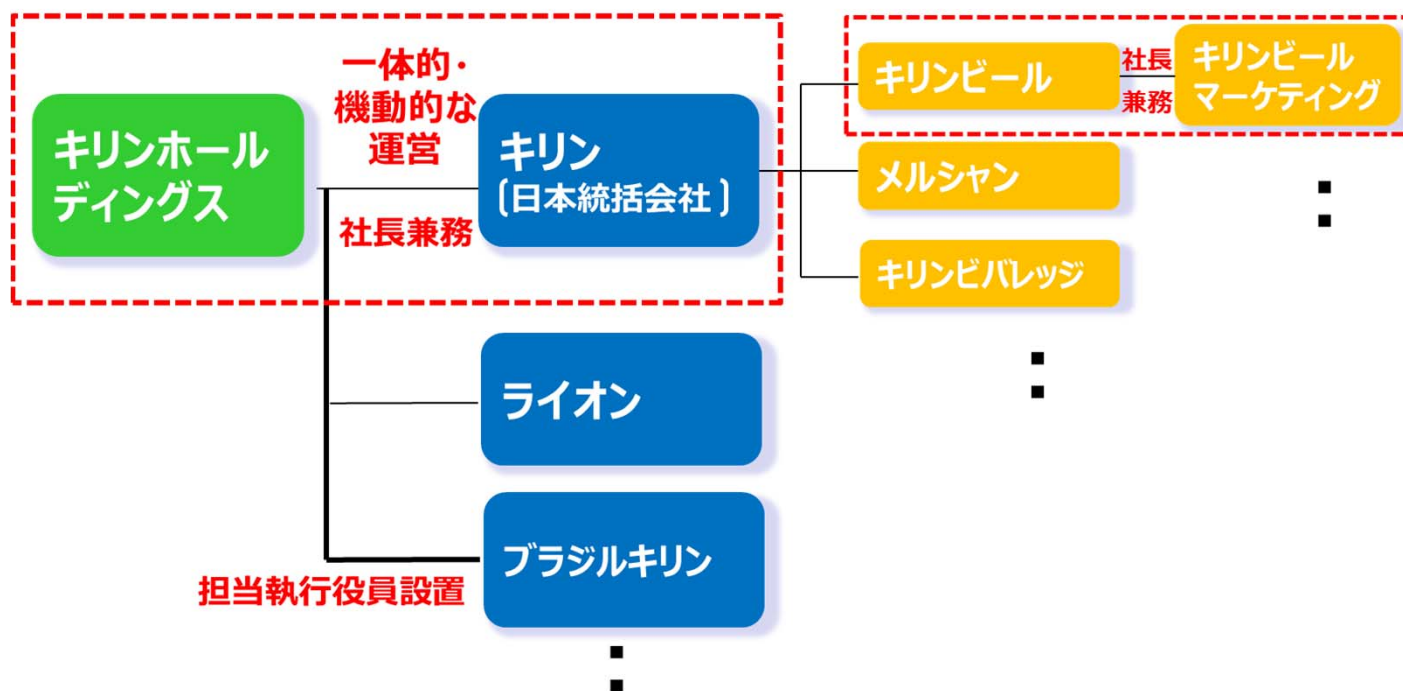


日本総合飲料の再成長に
スピード感

麒麟ホールディングスに
ブラジル麒麟担当執行役員を設置



事業の
監督・支援強化





中長期的なブランド育成のため

市場を見て
戦う組織になる

- 戦うための投資を重視
- 成果が出るまで戦略の一貫性を保つ

権限と責任を
委譲する

- 地域特性に応じた主体的な意思決定
- 経営職人事制度改革

「やらないこと」
を決める

- 「やるべきこと」の明確化
- 優先課題以外の活動・費用の削減

ビール類

対前年 +1.1%

マーケットシェア※ 34.0% (+0.9 pts)

※マーケットシェアは課税移出数量ベース

ビール

対前年 +1.1%

「一番搾り」ブランド計 +5.7%



発泡酒

対前年 +3.8%

「淡麗」ブランド計 +4.3%



新ジャンル

対前年 -0.9%

「のどごし」ブランド計 +11.1%



スモールサクセスの積み重ねにより、結果にこだわる組織へ





2013年を境にした競合環境の変化



地域戦略

市場ごとに最適化したチャネル・商品ミックス



2015年度計画

短期的な 取り組み

- 価格アップ
- 取引条件の適正化
- コスト効率向上

中期的な 取り組み

- 営業活動の改善
- ブランドポートフォリオの強化
- 物流体制の構築

上半期の評価と 課題認識

- ✓ 価格上昇効果を維持
- ✓ 不採算取引停止を実行
- ✓ 販売費・マーケティング費を効率的に使用

レアル安により原材料コストが上昇

実行スピードがやや不足
注力エリアでの販売数量
回復に遅れ

KIRIN

この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.

Appendices

通期業績予想

KIRIN

億円	2015通期 (2Q予想)	2014通期 (実績)	対前年増減 (%)		2015通期 (1Q予想)	増減
売上高	22,200	21,957	242	1.1	22,700	△500
営業利益	1,390	1,145	244	21.3	1,390	—
営業外損益	△110	△203	93	—	△170	60
金融収支	△140	△179	39	—	△155	15
持分法による投資損益	45	29	15	53.8	16	28
経常利益	1,280	942	337	35.9	1,220	60
特別損益	30	△163	193	—	△40	70
税金等調整前当期純利益	1,310	778	531	68.2	1,180	130
法人税等	470	330	139	42.3	425	45
少数株主利益	170	124	45	36.7	134	35
当期純利益	670	323	346	106.8	620	50

※ 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額220億円減少見込み

平準化 E B I T D A	2,730	2,731	△1	△0.1	2,760	△30
平準化 E P S (円)	120	118	2	1.7	121	△1

■ 平準化EBITDA

億円	2015年目標		2015年 2 Q (実績)	2014年 2 Q (実績)
	2 Q 修正	1 Q		
営業利益	1,390	1,390	579	502
減価償却費	950	970	467	471
のれん償却額	277	290	141	242
持分法適用関連会社からの受取配当金	116	112	60	48
平準化EBITDA	2,730	2,760	1,248	1,265

■ 平準化EPS

億円	2015年目標		2015年 2 Q (実績)	2014年 2 Q (実績)
	2 Q 修正	1 Q		
四半期純利益	670	620	331	140
のれん等償却額	450	469	229	330
税金等調整後特別損益	△28	14	△43	27
平準化当期純利益 ①	1,092	1,103	517	498
期中平均株式数（千株）②	912,540	912,543	912,542	923,982
平準化EPS（円）①÷②	120	121	57	54

各事業の通期連結売上高予想の見直し

KIRIN

億円	2Q修正	1Q予想	差異	備考
キリン	11,900	11,900	—	
ライオン	4,425	4,709	△283	酒類販売数量減少 為替レート変更（97円→93円）
ブラジルキリン	1,622	1,981	△359	販売数量減少 為替レート変更（46円→39円）
その他海外	492	408	+83	
協和発酵キリン	3,510	3,460	+50	国内医薬品の伸長
その他	250	240	+10	
合計	22,200	22,700	△500	

通期業績予想 日本綜合飲料事業



億円	2015通期 (2Q修正)	2014通期 (実績)	対前年増減		2015通期 (1Q予想)
売上高	11,900	11,529	370	3.2%	11,900
キリンビール	7,113	6,987	126	1.8%	7,121
キリンビバレッジ	3,683	3,457	226	6.6%	3,701
メルシャン	694	691	2	0.4%	704
その他・内部取引消去	407	393	13	3.5%	372
営業利益	420	481	△61	△12.8%	400
キリンビール ※1	589	664	△75	△11.3%	571
キリンビバレッジ ※1	69	53	15	29.7%	69
メルシャン ※1	14	14	△0	△2.4%	14
その他 ※2	△252	△230	△22	—	△254
計		501			
のれん償却額 ※3	—	△19	19	—	—

■ 営業利益 対前年増減

キリンビール	億円
酒類限界利益	42
原材料コスト	△27
販売費	△97
その他費用	7
計	△75

キリンビバレッジ	億円
数量差異	136
原材料等コスト	29
容器構成差異等	△6
販売費	△120
その他費用	△23
計	15

※1 2015年度より持株会社へのマネジメンツフィ控除前にて表示（2014年度実績も組み替えて表示）

※2 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含む

※3 2015年度から、企業結合会計適用により、のれん償却額が減少

通期業績予想 ライオン



	2015通期 (2Q修正)		2014通期 (実績)		対前年増減		対前年増減 (%)		2015通期 (1Q予想)	
	億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円 ベース	AUD ベース	億円	百万AUD
売上高	4,425	4,758	4,702	4,989	△276	△231	△5.9	△4.6	4,709	4,855
酒類	2,471	2,657	2,558	2,715	△87	△57	△3.4	△2.1	2,693	2,777
飲料	1,954	2,101	2,143	2,274	△189	△173	△8.9	△7.6	2,015	2,077
のれん等償却前 営業利益 ※1	638	686	629	667	9	18	1.5	2.8	666	686
酒類 ※1	664	714	670	711	△6	2	△0.9	0.4	692	714
飲料 ※1	28	30	2	2	25	27	922.7	944.4	29	30
本社 ※1	△53	△57	△43	△46	△9	△11			△56	△57
のれん償却額 ※2	△121	△130	△311	△330	190	200			△126	△130
ブランド償却額	△37	△39	△41	△44	4	4			△39	△40
営業利益 ※2	479	516	275	292	204	223	74.0	76.3	500	515

連結期間：2014年10月～2015年9月 為替レート：93.00円（前年同期：94.24円、1Q予想：97.00円）

※1 2014年度実績の事業別内訳は、2015年度本社費用賦課ルールの変更を反映

※2 2015年度は、2014年度に対し企業結合会計適用によりのれん償却額が減少

通期業績予想 ブラジルキリン



	2015通期 (2Q修正)		2014通期 (実績)		対前年増減		対前年増減 (%)		2015通期 (1Q予想)	
	億円	百万リアル	億円	百万リアル	億円	百万リアル	円ベース	リアルベース	億円	百万リアル
売上高	1,622	4,159	1,799	3,987	△177	171	△9.9	4.3	1,981	4,308
のれん等償却前 営業利益	73	188	99	220	△26	△32	△26.2	△14.6	143	312
のれん償却額	△45	△117	△53	△118	7	1			△53	△117
ブランド償却額	△27	△69	△31	△69	4	－			△32	△69
営業利益	0	0	14	31	△14	△31	△98.3	△98.0	57	124
E B I T D A	196	505	227	503	△30	2	△13.2	0.4	276	600

連結期間：2015年1月～12月 為替レート：39.00円（前年同期：45.13円、1Q予想：46.00円）

億円	2015通期 (2Q修正)	2014通期 (実績)	対前年増減		2015通期 (1Q予想)
売上高	3,510	3,251	258	8.0%	3,460
協和発酵キリン	3,600	3,334	265	8.0%	3,540
医薬	2,750	2,518	231	9.2%	2,690
バイオケミカル	850	815	34	4.2%	850
その他・内部取引消去	△90	△82	△7	—	△80
営業利益	500	388	111	28.6%	450
協和発酵キリン	500	388	111	28.6%	450
医薬	385	290	94	32.5%	320
バイオケミカル	85	72	12	16.8%	95
その他・のれん償却額消去	91	87	3	4.5%	92
のれん償却額	△61	△62	0	—	△57

- 今期より「企業結合に関する会計基準」適用に伴い、のれん償却額が減少
- 前年同期に比較して、セグメント利益、連結営業利益、連結経常利益、連結四半期純利益への影響が発生

(百万円)	のれん償却額減少額 (営業利益増加額)
日本総合飲料	1,119
海外総合飲料	9,664
ライオン	9,542
ブラジルキリン	24
その他	97
医薬・バイオケミカル	386
合計	11,180